



藤井 輝夫

深海観測技術のフロンティアを開拓する

先端深海観測技術研究会

RC-91

代表幹事

藤井輝夫（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

岡村 慶（高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 教授）
 下島公紀（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授）
 野口拓郎（高知大学 教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 准教授）
 許 正憲（海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 上席技術研究員）
 福場辰洋（海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 技術研究員）
 尾張聡子（東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 助教）

連絡先

藤井輝夫

Tel : 03-5452-6211

Fax : 03-5452-6212

e-mail : domat91@iis.u-tokyo.ac.jp

主旨

深海における物理・化学・生物パラメータの計測技術は、現場型センサーなどの開発により時空間的な測定限界を克服しつつあり、長期広域計測が実現可能なレベルになってきた。これらの深海計測技術は海底下も含めた海底熱水活動の科学的根拠に基づく大規模調査に有用であり、新しい海底鉱物資源の探査に不可欠な要素となりつつある。また、各パラメータの統合解析は海底熱水活動の成因論分析、環境影響評価など海洋の全容を把握するためのツールとして、今後発展が予想される研究分野であり、また国際的な競争も激しくなると予想される。

本研究会では、深海調査技術のフロンティアについて情報交換するフォーラムを開催し、研究開発のトレンド・市場ニーズ・共同研究のあり方、などのトピックについて多角的に議論を行う。これらの議論に基づき、民間企業への技術移転を見据えた次世代の深海調査を強力に推進するためのロードマップを提案する。

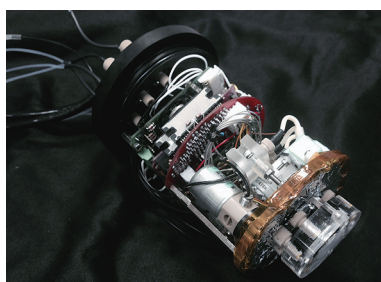
参 加 費：賛助員の場合 ：20万円（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

非賛助員の場合：30万円

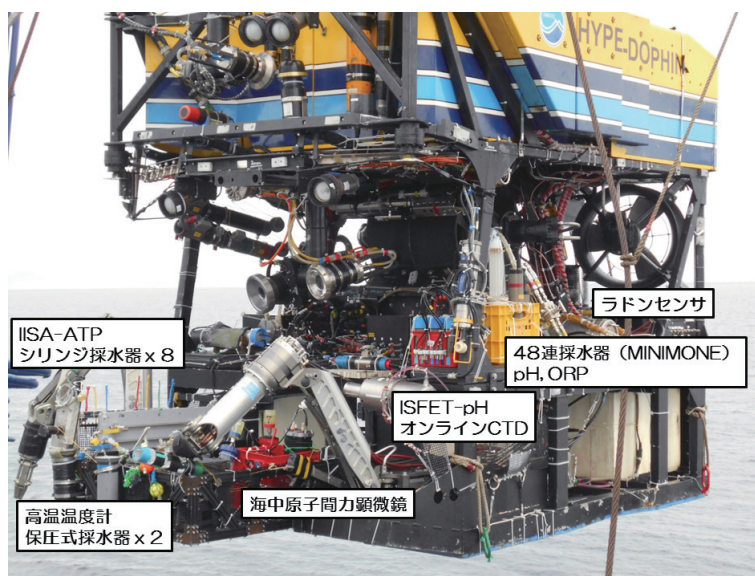
※上記以外の参加形態もありますので、詳細はお問い合わせ下さい。

定 員：参加企業数の制限なし

運 営 方 法：年4回程度の研究会を生産技術研究所所内または幹事所属の所外機関において開催する。



(上) 現場型 ATP センサー (IISA-ATP)
 (下) ATP 検出用マイクロ流体デバイス



海中探査機に搭載した深海観測センサー類（写真協力：海洋研究開発機構）

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405

TEL：03(5452)6095

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp

●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2019.html



2019年度 特別研究会申込書

いずれかに○をつけてください。

申込日：____年____月____日

☐ 新規

☐ 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

(2) 貴社名 :

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(5) その他（ご希望や新しい特別研究会のご提案も歓迎いたします。別紙でも可）

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。

☐ (1口につき年会費10万円)

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。

☐ (1口につき年会費10万円)

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。